

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 209 号)

発行日：2024 年 (R6) 12 月 18 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788  
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



## 戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

師走を迎え、やっと冬らしくなってきました。秋はあったよう無かったような？…あったんでしょう！雪は多いという予報。気温はどうなのでしょう？地球温暖化が進むと極端な気候になるということですが、雨が降らない。降ったら大雨。雪は？大雪か？気温は高い日も結構あるが冷えるときは超寒い？やはり地球がシステム故障（バグ）を起こしているのかもしれませんが、46 億年の地球の歴史の中では大した問題ではないのかもしれませんが、地球にしがみついている「生き物」にとっては大問題です。

バグ (bug) の意味は英語で「虫 (insect, bug)」。初期の PC の内部に「蛾 (虫)」が入り込み故障したとか。蛾を取り除くと正常に戻ったそう。この蛾は現在スミソニアン博物館(アメリカ)に保管されているそうです。地球システムに入り込んだバグは何でしょうか？

よくわかりませんが「スミソニアン博物館」に展示できるようなものならいいのですが…「エロゲイ」や「零戦」「銃や武器」も展示されているそうです。 (今住 12 月 16 日作成)

## 定期活動 ★11月24日(日) 第1湿原バッファゾーン柴刈り 6名で作業

前回のロケーション確保の続きです。まだ落葉樹の葉が落ちきらない状況ですが、常緑の広葉樹を中心に刈り取り。手作業ですが、ヒサカキ(柃) ソヨゴ(冬青) イヌツゲ(犬黄楊) をターゲットにして黙々と作業します。休憩もなし？「こんな団体だったのか？」と目を見張る働きです。実



コツコツと常緑樹を刈る

は私いません。「新型？旧型？コロナ」罹患中でした。微熱と咳、倦怠感の中、この作業情報を聞いて熱が上がりそうになりました。やはり皆さんが目指しているのはこのような黙々と「柴刈り」をする集団なんのでしょうか？次の機会には私も心を入れ替え「がんばろ〜！」とコロナさんと相談していました。

しかし、分かっていたもののヒサカキ、ソヨゴなどを伐ると驚くほど明るくなります。これで落葉樹の葉が落ちると「すっかさっか」のバッファゾーンの完成となるはずなのですが、さてどうでしょうか？まだ道半ば。もう少し頑張りたと思います。私「全然」頑張ってないので…。

写真が送られてきたのですが「う〜ん」よく分からない？ま〜そんなもんでしょう。お疲れ様でした！葉っぱ落ちてからの景色に乞うご期待！



遊歩道からしっかりと湿原が見えてきました

**はなみずき保育園本園** ★11月28日(木) はなみずき保育園本園 秋の遠足？

やってまいりました保育園シリーズ第2弾！はなみずき保育園本園。実はこの前にも系列2園予約が入っていたのですが、諸般の事情で中止(延期?)。今回のシリーズはこれだけとなりました。



行け！いけ！暴走少年団！

のはなんと水筒。思い出しました！前回来たときは水筒無し。「肩紐」が引っかかって事故につながることもある、と消費者庁からの「注意喚起」が出ていた。そこでリュックに入れるように変更。工夫ですね。まだ試行錯誤は続くかもしれません。

シリーズとちゃうがなとご批判もありましょうが…。

園児の成長が著しいのと2回目ということもあり、やる気満々。年寄りスタッフ達には眩しくて、怖いぐらい…。まず降りてきて気になったのが、リュック？(背負い袋)手作り風の筒状の袋が背負えるように。「何が入ってるの？」と聞くと、出てきたも



なんかよ～わからん立体交差



ん？前と川の様子が違うぞ

最初に記念撮影をして、「クマ用心」「迷子用心」のため大きい声を出す練習「助けてー！」をした後しゅっぱーつ！小学校の時もそうでしたが、なんか「自由度」が上がっています。山の中へ突進！「もー勝手にしてください」とも言ってられませんが、「たすけて〜」練習もしているし。どうぞご自由に…と思いつつも「大丈夫、ちゃんと待つところでは待ってる」と確信していました。スタッフも見守ってるし…。竹筒ポストに石投入。自然に足が川へ…。この時期に濡れると後が大変。「慎重に



木道は歩きにくいがなぜか楽しい

慎重に」と声掛け。さすがにサワガニは見つからず。毎回来るたびに川の様子が違うのにも気づきました。大雨が降ると砂や石が動いて違う姿に。川を道のように進みます。(←子どもだけ)何とか無事に脱出。湿原へ。枯れた又マガヤの第3湿原を抜けて視点場へ。「又マガヤストロー屋」さん開店です。又マガヤストローで水筒から水分補給完了！さあ山へ。鉄塔下をめぐり、第2湿原をかすめてズリ山へ。子供たちは先へ先へ…。ここは初めての道なので様子を見ながら。獣道(けものみち)と共用ですからあっち行ったりこっち行ったり藪の中。突然でっかい「砂場(ズリ)」出現！駆け出します。見晴らしのいいところでひと休み。「金平糖=元気玉」補給。ズリ遊びの始まり。お尻ドロドロ砂まみれ。昔の自分を思い出します。これで「漬(はな)垂れ小僧」がいたら完璧なんですけど、最近はいない。(少ない?)



道はどっちやねん？川？道？



眺めのいいでっかい砂場や！



ズリでずりずり滑り台？



命がけのズリ下り！

ーしんど」とは言いませんでしたよ。内緒ね。

最後にドロドロお尻の記念写真。(園児撮影) 思っているほど汚れてない？隣には「びちょびよ」の長靴から履き替える「おんぶ小僧」の姿が。楽しい一日でした。またおいでや！

「鼻炎？」「風邪？」だったのでしょか？今は治療が進んでいるからいい？ちなみに「青っ漬」は副鼻腔炎だそうです。「漬垂れ小僧」が懐かしい。ひとしきり遊んだら、また獣道からズリ道を下り(転げ落ち) 帰途へ。とっていると先行部隊がすでに川で…水没していました。もう寒い季節、泣き出しそう…。「おんぶしたるか？」のひと言がまずかった。素直に「うん」。バスまで数百メートル、おんぶするはめになりました。「あ



お尻の汚れをチェック！(園児撮影)

### たからづか市民環境フォーラム ★12月7日(土) 宝塚市立東公民館 「宝塚北高校」が発表！

毎年12月の第1土曜日に開催される「たからづか市民環境フォーラム」。「環境都市宝塚推進市民会議」「宝塚市」の共催。2023年度から「自治会連合会」とも共催になっています。

内容は環境啓発ポスターの表彰。(市)環境衛生実践功労者の表彰(自治会)。市民の発表。市民会議メンバーの活動報告。記念講演として、エコマジシャン・ミヤモさんのショー！100名を超える参加がありました。

市民発表として、昨年丸山湿原群取材してくれていた「県立宝塚北高校放送部」がビデオ



すいません、ビデオを写真にしました

発表をしてくれました。テーマは「正しい自然との関わり方」。申し訳ない！「丸山湿原群保全」の内容で私が出演しているので恥ずかしく、写真を撮り忘れしました。左の画像はビデオの最初の切り抜きです。本来コンテスト用に8分にまとめたものを、15分に編集し直してくれました。しかも期末テスト中。発表には代表して2年のA君が保護者が止めるのを押し切って参加してくれました。(冗談です。保護者の方も来ていただきました。もちろん顧問も。)顧問の先生にお話を聞くと、取材内容が大きすぎてもともと8分では収まらなかったとのこと。それでコンテストは予選落ち？煮え切らないまま終了するのも嫌だったので「フォーラム拡大版で発表出来てよかった」と言っておられました。

内容は、「里山の自然とはなんぞや」という大変奥の深い内容でした。「正しい」「関わり」すべてのことに共通するような…できればYouTubeで公開できないものかと、ただ今調整中です。高校の発表。権利関係には相当気を使うようです。当然ですが「正しい権利との関わり方」です。放送部は来年以降も「丸山湿原群」とお付き合いしていただけるようで…無理は言いませんがよろしく願いいたします。「正しいご縁との関わり方」か？

市民会議の活動報告は「宝塚エコネット(TEN)」が発表。ピカピカランドや松尾湿原、残り炭(消し炭・からけし)を使った炭団(たどん)製作の話など興味深い内容でした。自治会表彰では市民会議のメンバーでもある「やまもり山里(さんり)」も表彰されました。来年度は「やまもり山里」が発表かな？妙にプレッシャーをかけてます。ポスター表彰は市の広報から紹介されると思います。ぜひご覧ください。言い忘れましたが、「丸山湿原群保全の会」は環境都市宝塚推進市民会

議（長い、覚えられない略称 市民会議）のメンバーです。行事の後援もしています。

**定期活動** ★12月14日（土）9名で活動 基礎調査 作業

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導（EC）	PH
丸山	40	26	入口	10：13	4.5℃		
ハイキング・登山	68	90	第3湿原	10：34	【7.7℃】	36.1 $\mu$ S/cm	7.4
散歩	11	5	視点場	11：08	5.1℃	30.1 $\mu$ S/cm	5.4
			第1湿原	11：18	【6.5℃】	34.5 $\mu$ S/cm	6.2
			第2湿原	11：41	【6.2℃】	30.6 $\mu$ S/cm	6.0

来場者数計240人  
（竹筒ポスト集計）

今回から冬作業。第2土曜は基礎調査と作業となります。しかも直前に午後も有志で頑張ろう！の呼びかけを。湿原内の又マガヤ刈りはルーティン作業ですが、歩道からのロケーション確保を何とかしたいと考えています。葉もほぼ落ち、作業が済んだところは予言通り「すっかさっか」になっていました。夏になればまた見えなくなるのかもしれませんが、それは落葉樹の葉による目隠し。いわゆる「夏緑二次林」。湿原からのエコトーン（移行帯）としての役割も向上します。多分…。前回の間伐？択伐？から湿原際の遷移が進んできたようです。少し頑張る時期が来たの



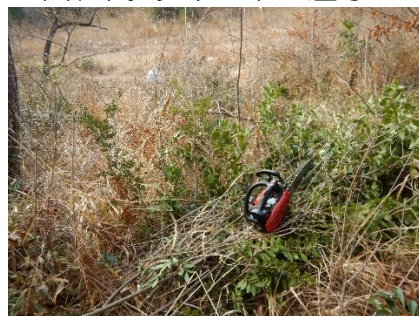
まずは竹筒ポスト



刈り払い機は5台投入

の中？に溜め込んだ水はいつまでもつのでしょうか？無くなったのを見たことはありませんが、そんな日が来るのかもしれませんが。田んぼも作れなくなるか？

そんなお天道様のことを言ってもどうにもならないので、作業作業。今年は第4湿原の又マガヤ刈りからスタート。なぜ第4



ソヨゴ、ヒサカキをミニチェンソーで

手鋸、ハサミ、鎌なんでも使います。みじん切りにできたらいちばんいいのですが、細かくさばく程度。昔ならひと抱えの柴にして持って帰った（二宮金次郎スタイル）ところですが、燃やす竈（かまど）も柴納屋（柴小屋）もない。サスティナブルとはいきませんが、生物多様性に寄与ということで納得致しましょう。今回は、「人」以外の生き物の記事がないな…ちと寂しくなりました。



手作業で山際をがんばります



第1湿原 枯れ松を設置

から？意味はありません…。しいて言うなら去年は最後だったから。最後はやっぱり雑になる…だから入れ替え？第4の刈り取り自体はほぼ終了。草集めがもう少しかな？午後は第1湿原に移動してロケーション確保です。アカマツの枯れたのが数本あり、それも処理。持てる大きさに伐って水路に。縦から横への水の流れを作ります。今回は掘り込んだだけです。もう少し手を入れるつもりです。あとはヒサカキとソヨゴ退治！細いものから少し太いものまでミニチェンソー、

次回活動日 12月22日（日）午後納会（森公園農舎 13：00頃）2025年1月11日（土）26日（日）